

2040年からの手紙



働き方・生き方を
見つめ直しているあなたへ

東京オリンピック・パラリンピックがあった今から20年前。

2020年に生きているあなたへ。

こうして未来から語りかけることができるようになったのは、

私たち人類の歴史上、最高の発明といえるでしょう。

2020年のあなたが信じようと信じまいと構いません。

私は今50歳。2040年の世界で、ある企業で働いています。

そして、ふとこれまでの半生を振り返ったとき、自分自身の価値観も、

世の中の価値観も大きく変わり始めた2020年前後を思い出し、

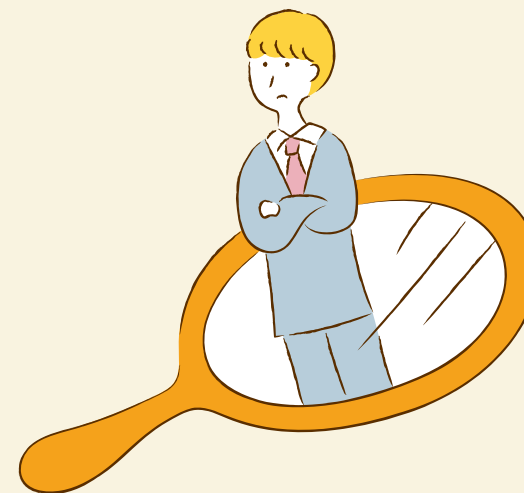
あの頃に生きる皆さんに、少しでも未来への

勇気につながる道を示したくて手紙を書くことにしました。

会社にすがって生きていくだけが人生ではないと確信をもち始め、

これからどうすべきかと、立ちすくんでいる人も

いるのではないかと思ったのです。



2020年、20代の皆さんは常識が変わるなかで

きっと新しい時代の働き方や生き方を

皆さん自身が作り始めていることでしょう。

2020年、40代の皆さんはそれまでの自分の働き方・生き方を見つめ直し、

本当の幸せがどこか別にあるのではないかと感じ始めていることでしょう。

そんな皆さんに、この先、一体、何が変わっていくのか、

私が2040年までの20年間で体験してきたことをお伝えしたいと思います。

振り返れば20年などあっという間ですが、

その間の変化の大きさはそれまでの20年とは比べ物になりません。

変化が加速したきっかけの一つは、

働き方や生き方を真剣に考える機会に迫られたことでしょう。

国をあげての働き方改革があったり、

どうやら100歳まで生きようだと気づき始めたり、

AI時代に人は何をやるのだろうかと考え始めたり、

外国人と一緒に働くのが全く珍しくなくなったのも

2020年頃だったと思います。

今、振り返ると、それまでの働き方の常識が一気に崩れ、

もう一度、どんな働き方・生き方が理想なのかを

考え始めた時期がこの頃だったといえるでしょう。

人生という視点で理想の生き方を考えると、

誰もが当然自分にとっての幸せとは何か、

ということに行きつくわけですが、

2020年辺りから明らかに変わり始めたのは、

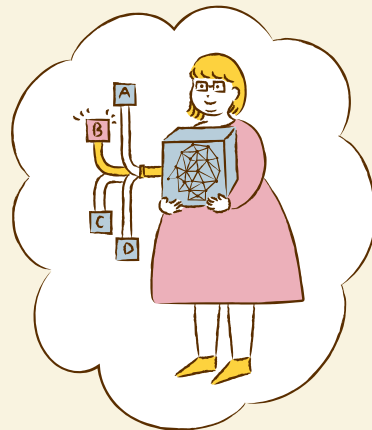
「一つの会社で働き続けることが幸せを約束することではない」

という当たり前の考えに、多くの人が確信をもち始めたことです。

人が100歳まで生きるという時代に、

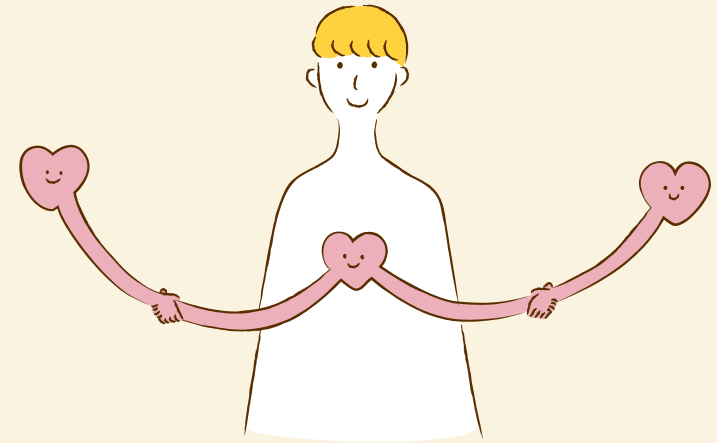
企業の寿命は30年を切り始めたのだから

当然といえば当然です。

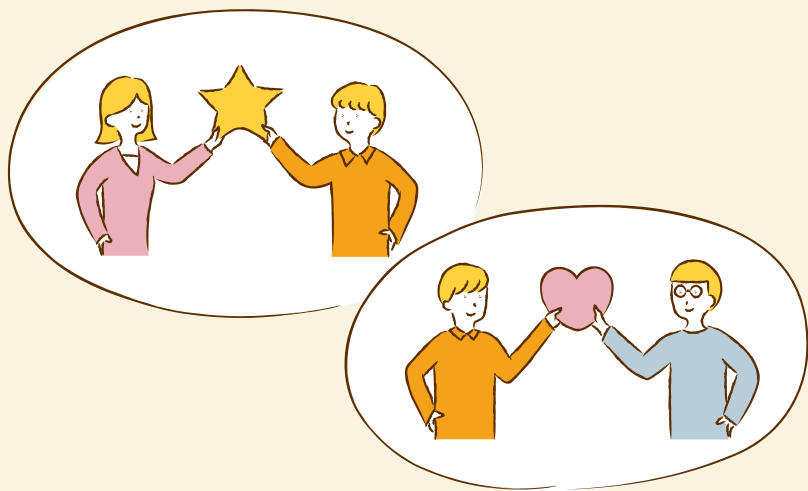


こうして人は転職を含むキャリアチェンジを行うのが
当たり前になりましたが、
さらに進んだのは、会社の仕事以外にも
やりたいことは始めたほうがいい、という意識の芽生えです。
当初は、会社以外の収入を増やすためとか、
自社ではできない経験を積むためなど、
動機は様々でしたが、今、2040年の私たちには
こうした考え方が当然だという明確な理由があります。

大切なリレーションは
一つではないことに
そして、変わっていくことに
気づいたのです。



「リレーション」とは、関係性のことを意味しますが、
ここでいうリレーションは単に挨拶を交わすような関係ではなく、
お互いに信頼し、その人やコミュニティとのつながりに
主人公感を感じられるような関係性のことです。
主体的に当事者として関われる関係ともいえるでしょう。
長い人生のなかでは、働いている会社との間の一つだけでなく、
副業で生まれた関係であったり、地域活動で生まれた関係であったり、
学びの場や遊び仲間との間で生まれた関係であったり、
もちろん家族との関係も含めて、リレーションは変わっていきます。
だからこそ、いろいろなリレーションを大切にできることが、
人生を豊かにしていくことだと私たちは気づいたのです。



私自身も、平日の夜に始めたバーテンダーの仕事で遊び仲間ができました、
娘の学校のPTAに参加してパパ友やママ友がたくさんできました。
会社員として働いていた時期に共に学んだビジネススクールには同期たちがいます。

20年以上経った今も素でいられる仲間ができたことで
大きく世界が広がったし、心にゆとりを持つことができました。

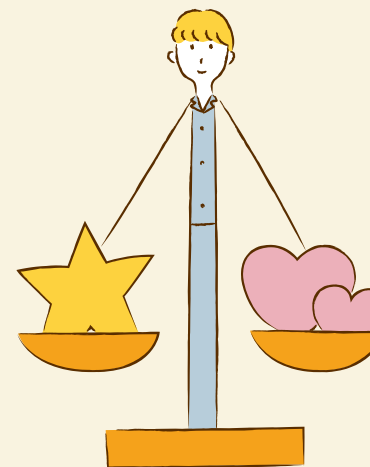
人生には心に安らぎをもたらすような家族や仲間とのつながりと同時に、
心が躍り達成感を感じることができる場との
つながりもあったほうが良いと思います。

もちろん、そんな複数のリレーションなどなくてもいいという人もいます。
でも、ちょっと意識を変えて試してみるのもいいかもしれませんよ。
私のように新しい自分らしさに気づく人もきっといると思います。

私の場合、自分の成長があたま打ちになったと感じ、
どうしても学校で学びたいと思ったとき、
パートナーが背中を押してくれたり、経済的に支えてくれました。
ときには、会社の外のつながりから、
新たなものの見方を得たり、違うチームでなにかをしたり。
それが会社での仕事に気づきやパワーをもたらすこともありました。

100年もの人生、もっと楽しんでいいはずですよ。
会社とのリレーションだってもっと豊かにできるかもしれません。
長い人生において、つながりを感じられる場がいくつかあることは、
自分の可能性を広げたり人生を充実させたりすると思うのです。

心が安らぐリレーションと、心が躍るリレーションの
バランスを大切にすることで人生に変化が生まれます。



これは私だけに起きた気持ちの変化ではありません。

世の中の価値観が大きく変わったのだと思います。

そして、次第に、人々はこうした世の中を

マルチリレーション社会と呼び始めました。

2040年の今、50歳の私がこれからの人生を

さらに楽しもうという気持ちになれるのも、

多様なつながりの可能性に気づき、いくつかのリレーションを

時間をかけて大切にしてきたからだと思うのです。

長い人生のなかで、キャリアをチェンジするタイミングが来ることは

おそらく皆さんも感じ始めていると思います。

でも、そんな明確な変化ばかりでなくてもいい。

やりたいことを同時期にやっけていてもいいのだと思います。

リレーションが複数あれば、

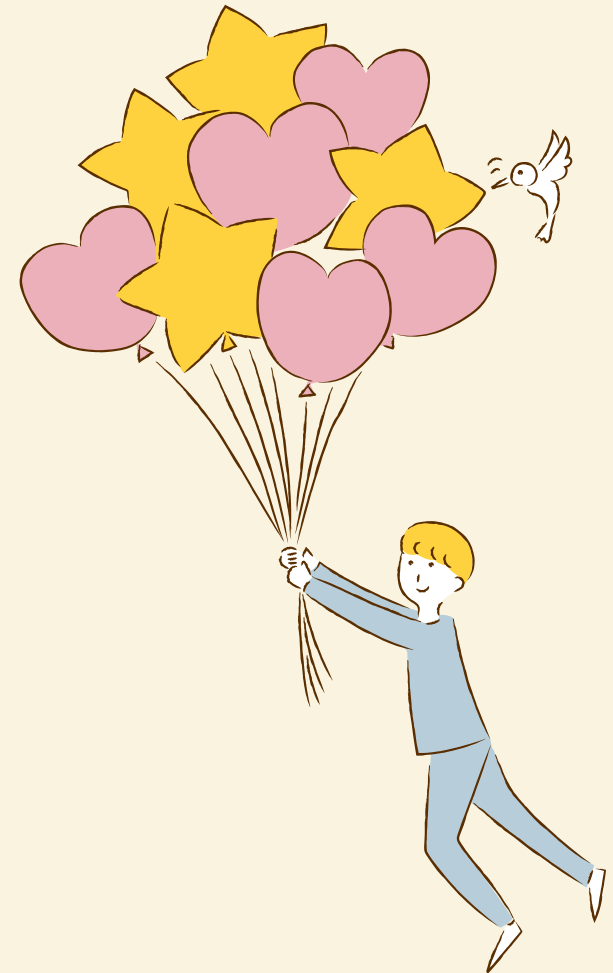
何かを中断しても自分らしくいることができます。

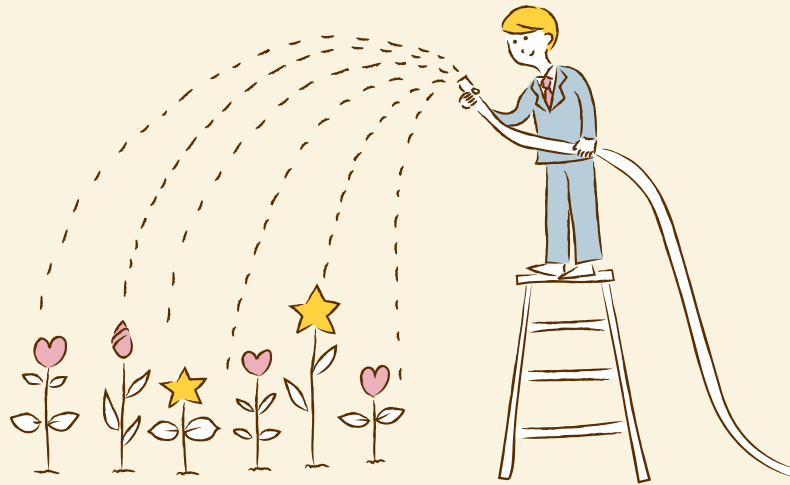
自分には合わないと感じ始めた関係を保ち続ける必要もなくなります。

不安もずっと減るし、引退後はどうするとか、

余生はどうするなんて会話もなくなります。

きっと一つの仕事を終えても、心躍る次の何かがみつかることでしょう。





自分の心に安らぎや力を与えてくれる

仲間とのリレーションは、

自然には生まれません。

リアルな世界で小さな一歩を踏み出し、

行動を共にすることで

大切なリレーションは育つのだと思います。

そんな私がこうして2020年のあなたへ

メッセージを送っているのには理由があります。

もし、あなたが幸せな未来を望むなら、

将来の幸福感を生むようなリレーションの芽を

摘み取らないでほしいのです。

こんな大事なことに気づく前の私は、会社での仕事だけを優先し、

将来につながる素敵な出会いに向き合わずにいました。

いえ、本当は気にしていたのかもしれませんが。

でも、目の前の仕事を言い訳に、

その関係づくりに踏み出さなかったのだと思います。

会社員だから、という思いに縛られ過ぎていたのかもしれませんが。

行動を起こし、

無理のない範囲で

自分らしいリレーションを

増やしていくことで、

人生を楽しむ心の余裕が

もてるようになりました。

マルチリレーション社会は、

心躍り、心安らぐつながりが多様な社会です。

長い人生を楽しむなら、

一つのことにとられ続けることはありません。

あなたの人生の喜びは、

もっともっと大きくすることができると思います。

以上がたった20年ですが、大きな変化を味わった

2040年の私からあなたへのメッセージです。

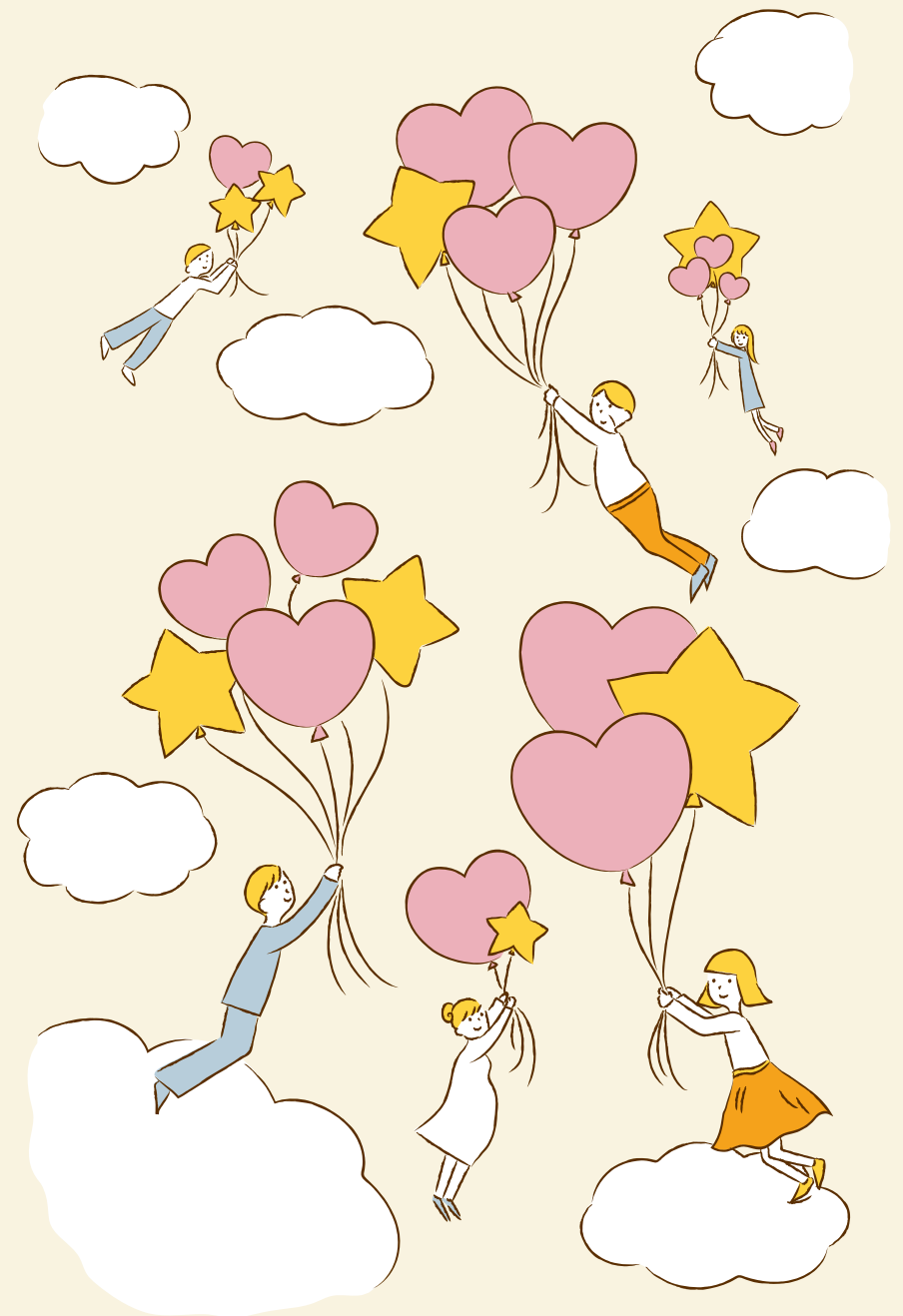
今から20年後、2040年を迎えるとき、

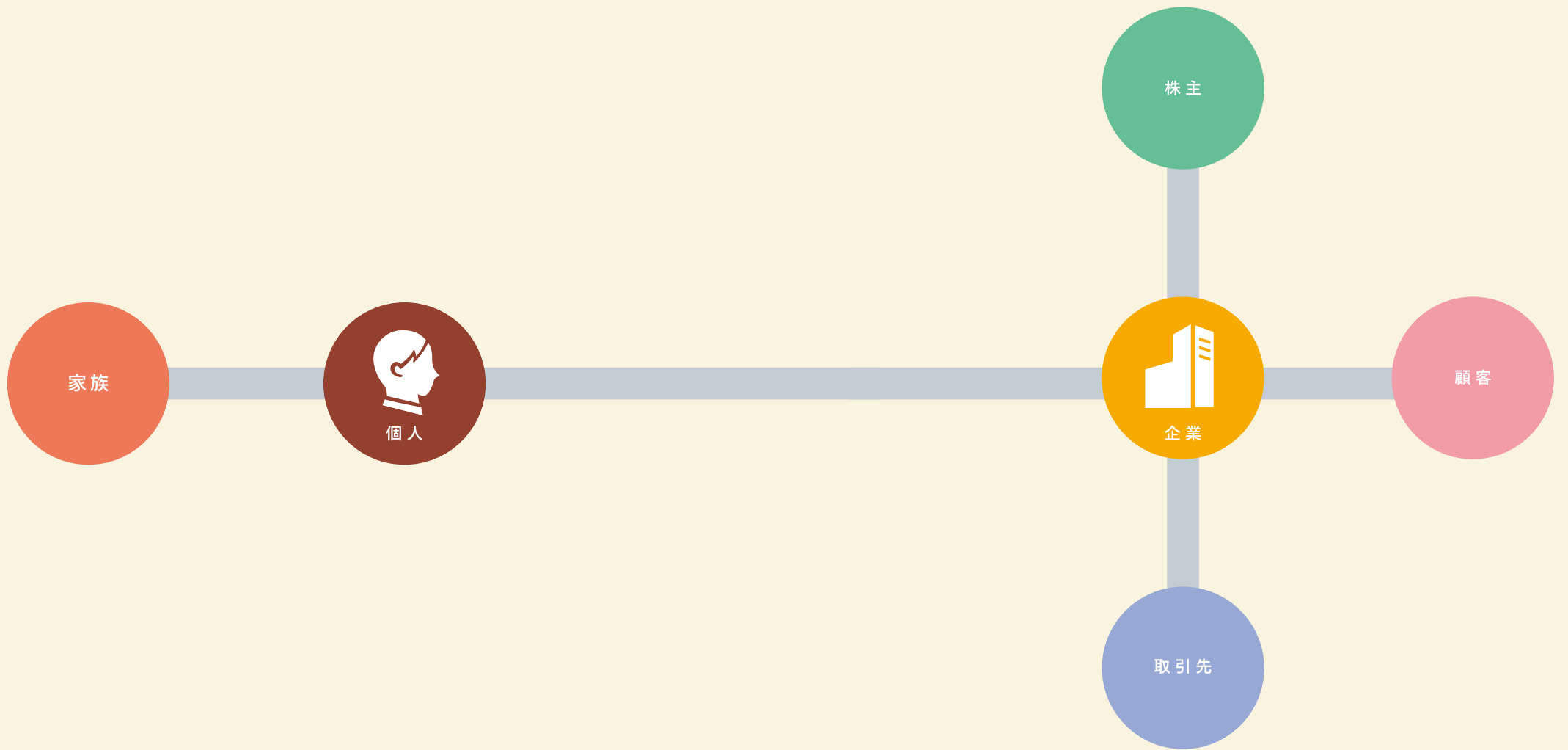
あなたはどんな人生を歩んでいるでしょうか。

あなたらしいいくつかのリレーションを持ち、

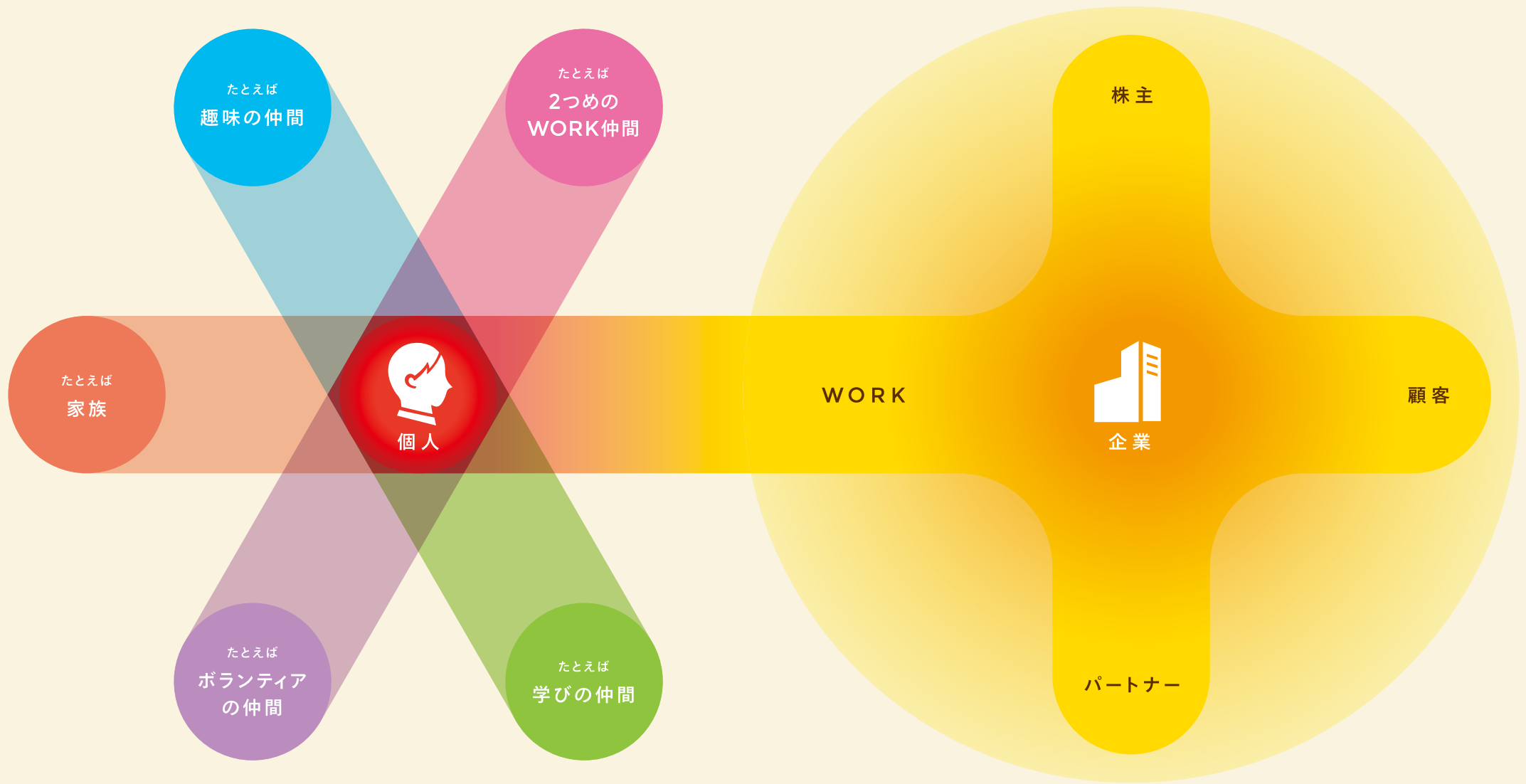
生き生きしているあなたに会えることを願っています。

2040年1月1日





2 0 2 0



2040

リクルートワークス研究所は、 これからの新しい社会像として 「マルチリレーション社会」を 提案します。

リクルートワークス研究所は、「一人ひとりが生き生きと働ける次世代社会の創造」を
ミッションに、1999年に設立しました。

当時、私たちが掲げていたのは、「モザイク社会」というコンセプトでした。

あれから20年、多様な個人が活躍するモザイク社会は、現実のものになりつつあります。

しかし、自分らしさの追求は人々がバラバラになるリスクと隣り合わせです。

少子高齢化により、家族のあり方も変わり始めています。

だからこそ、これからの社会では、リレーションのあり方が
重要な意味を持つと私たちは考えています。

誰もが、自分らしくいられる場と、挑戦できる場とつながっている。

企業は、つながりを通じて価値を生み、人々の間に想いとお金を循環させていく。

リレーションは人々を結びつけ、社会に流れを生み出します。

これから長寿化と環境変化により、個人と個人のつながりも、

個人と企業のつながりも、企業どうしのつながりも変わり続けていくでしょう。

だからこそ、どんなリレーションをつくるかが、とても大切です。

つながりの多様性を尊重し、関係性の質を重視するのが、「マルチリレーション社会」です。

リクルートワークス研究所は、

豊かなリレーションに満ちた社会の創造に取り組んでまいります。

次世代社会提言プロジェクトーマルチリレーション社会：個人と企業の豊かな関係ー

●リクルートワークス研究所：中村天江(プロジェクトリーダー) 津田郁 千野翔平 豊田義博 大嶋寧子 古屋星斗 茂木洋之
孫亜文 坂本貴志 谷本智子 大久保幸夫 ●クリエイティブ：紫垣樹郎(株式会社インサイトコミュニケーションズ) 西尾望
(TRACKS & STORES inc.) 船越愛(TRACKS & STORES inc.) ●印刷：株式会社スマイ印刷
株式会社リクルート リクルートワークス研究所 104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル
TEL 03-6835-9200 URL www.works-i.com/

2019年8月発行 本誌掲載記事の無断転載を禁じます。 ©Recruit Co., Ltd. All rights reserved.